
4 6 0 2 . 機用品在庫管理情報登録 (蔵入等承認単位)

業務コード	業務名
C I A	機用品在庫管理情報登録 (蔵入等承認単位) 呼出し
C I A 0 1	機用品在庫管理情報登録 (蔵入等承認単位)

1. 業務概要

機用品蔵入承認された外貨客室機用品について、在庫管理情報を登録する。

(1) 「機用品在庫管理情報登録呼出し (C I A)」業務の場合

機用品蔵入承認された外貨客室機用品の情報を呼び出す。

(2) 「機用品在庫管理情報登録 (C I A 0 1)」業務の場合

機用品蔵入承認された外貨客室機用品について、在庫管理情報を登録する。

2. 入力者

機用品業

3. 制限事項

1 業務で入力可能な機用品品名コードは最大 1 0 0 件とする。

4. 入力条件

(1) C I A 業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合、運送先として登録されている保税蔵置場を管理する機用品業であること。
- ③機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用でない場合は、蔵置場所として登録されている保税蔵置場を管理する機用品業であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 機用品蔵入承認DBチェック

- ①入力された機用品蔵入等承認申請番号に対する機用品蔵入承認情報が存在すること。
- ②入力された機用品蔵入等承認申請番号に係る申請が承認されていること。
- ③既に本業務により、全件処理済でないこと。

(D) 貨物情報関連チェック

(a) 貨物情報DBチェック

海上貨物の場合は、以下のチェックを行う。

- ①機用品蔵入承認DBに登録されているB/L番号に対する貨物情報が存在すること。
- ②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合、搬出済みであること。

(b) 輸入貨物情報DBチェック

航空貨物の場合は、以下のチェックを行う。

- ①機用品蔵入承認DBに登録されているAWB番号に対する輸入貨物情報が存在すること。
- ②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合、搬出済みであること。

(2) C I A 0 1 業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合、運送先として登録されている保税蔵置場を管理する機用品業であること。
- ③機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用でない場合は、蔵置場所として登録されている保税蔵置場

を管理する機用品業であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 機用品蔵入承認DBチェック

- ①入力された機用品蔵入等承認申請番号に対する機用品蔵入承認情報が存在すること。
- ②入力された機用品蔵入等承認申請番号に係る申請が承認されていること。
- ③既に本業務により、全件処理済でないこと。
- ④入力された機用品蔵入等承認申請番号と機用品品名コードに対する機用品蔵入承認情報が存在すること。

(D) 機用品在庫DBチェック

- ①入力された機用品品名コードに対する機用品在庫情報が存在すること。
- ②譲渡（自社管理機用品）の旨の登録がされていないこと。
- ③機用品蔵入承認となる旨の登録がされていること。
- ④既に登録されている機用品蔵入等承認申請番号及びAWB番号等が30件以上存在していないこと。
- ⑤入力された機用品蔵入等承認申請番号が既に存在していないこと。
- ⑥同一機用品品名コードが入力された場合は、同一機用品蔵入等承認申請番号において合算した個数が100万個以上でないこと。
- ⑦同一機用品品名コードが入力された場合は、同一機用品蔵入等承認申請番号において合算したCIF価格が1億円以上でないこと。

(E) 貨物情報関連チェック

(a) 貨物情報DBチェック

海上貨物の場合は、以下のチェックを行う。

- ①機用品蔵入承認DBに登録されているB/L番号に対する貨物情報が存在すること。
- ②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合、搬出済みであること。

(b) 輸入貨物情報DBチェック

航空貨物の場合は、以下のチェックを行う。

- ①機用品蔵入承認DBに登録されているAWB番号に対する輸入貨物情報が存在すること。
- ②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合、搬出済みであること。

5. 処理内容

(1) CIA業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 機用品品名コード抽出処理

機用品蔵入承認DBより、本業務で登録確認済みでない機用品品名コードを抽出する。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(D) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要な旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) C I A O 1 業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 機用品在庫DB処理

入力された機用品品名コードに対して以降の処理を行う。

(a) 単価算出処理

単価算出は以下の計算式に基づき単価を算出する。

(計算式)

$$\text{単価 (注)} = \frac{\text{C I F 価格}}{\text{承認個数}}$$

(注) 小数点第3位切上げ

(b) 登録処理

機用品蔵入等承認申請番号及び単価等の登録を行う。

(C) 機用品蔵入承認DB処理

在庫情報登録が行われている旨を設定する。

(D) 貨物情報関連処理

(a) 貨物情報DB処理

海上貨物の場合は、以下の処理を行う。

①機用品蔵入承認DBに登録されているB/L番号に対する貨物情報に削除情報を設定する。

②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合は、搬入済みの旨を登録する。

(b) 輸入貨物情報DB処理

航空貨物の場合は、以下の処理を行う。

①機用品蔵入承認DBに登録されているAWB番号に対する輸入貨物情報に削除情報を設定する。

②機用品蔵入承認申請情報が保税運送兼用の場合は、搬入済みの旨を登録する。

(E) 添付ファイル管理DB処理

添付ファイル管理DBに入力された機用品蔵入等承認申請番号に係る情報が存在する場合は、削除情報を設定する。

(F) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(G) 注意喚起メッセージ出力処理

本業務で処理が行われていない機用品品名コードがまだ存在する場合は、注意喚起メッセージとして出力する。

6. 出力情報

(1) C I A 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
機用品在庫管理情報登録呼出し結果情報	なし	入力者

(2) C I A O 1 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
機用品搬入状況通知 情報	保税運送兼用の場合で、以下のいずれかの条件を満たすとき出力する (1) 入力された到着個数と発送個数に差異がある (2) 入力された到着数量と発送数量に差異がある (3) 保税運送期間を経過している (4) 税関届出を必要とする事故貨物がある旨入力された (注) 税関届出を必要としない事故貨物である旨入力された場合は、入力者にのみ出力	入力者
		税関（保税担当部門）